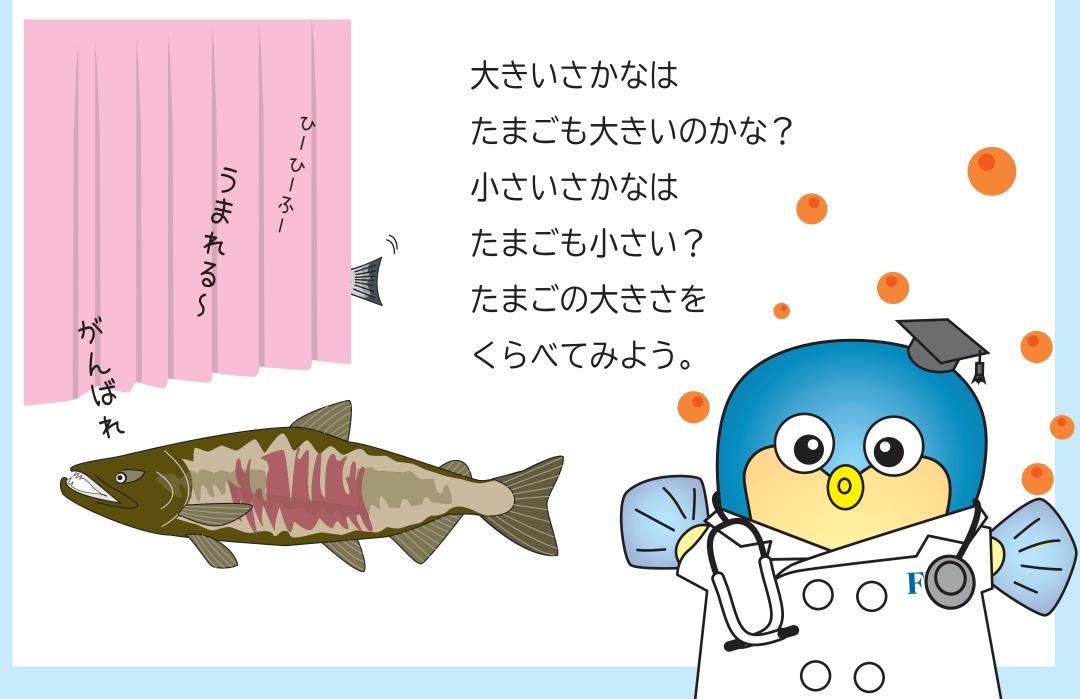
産婦人科 たまごの大きさは?



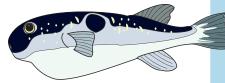


親の大きさはこんな感じ

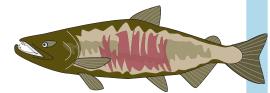
ハタハタ 20cm

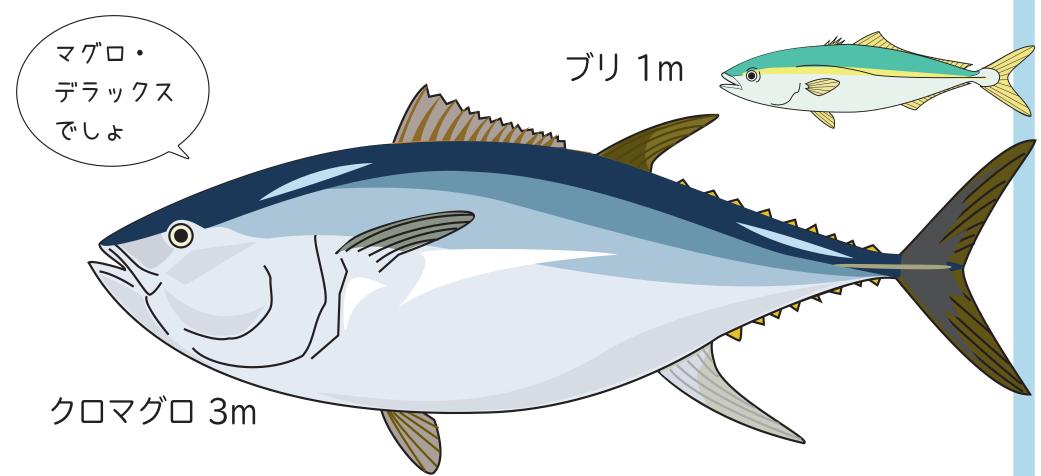


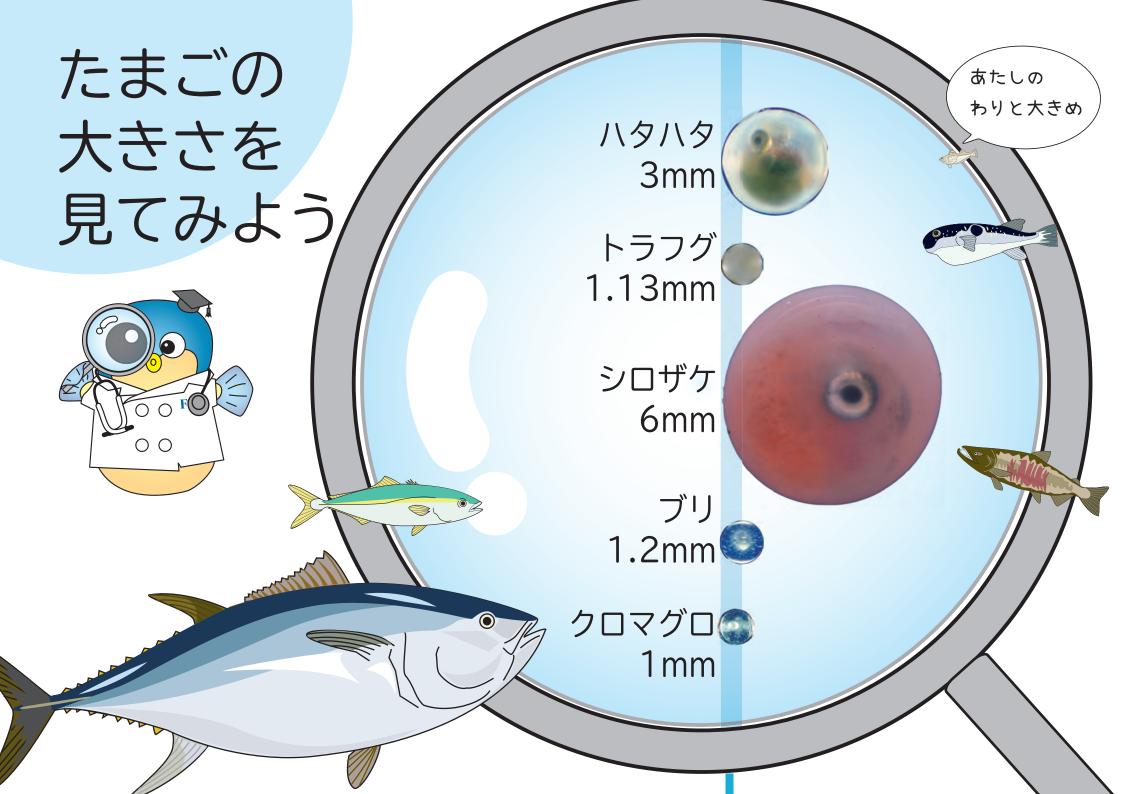
トラフグ 70cm



シロザケ 80cm



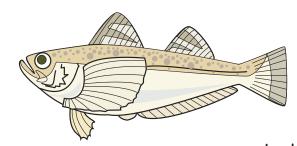




ハタハタ

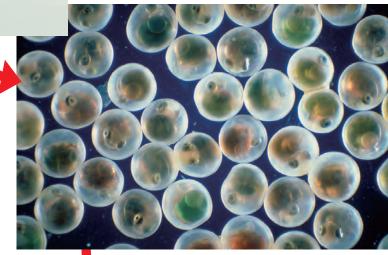
日本海の北の方にいる 親の大きさは 20cm たまごの直径は 3mm

12月に海の浅いところに生え ている海そうにボールのような かたまりで産みつけられ、2月 ころにふ化します。



たまごが たくさんかたまって ボールみたい

ハタハタのたまごは 「ぶりこ」と呼ばれるよ





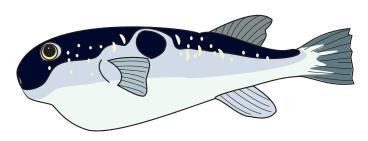
かくだい

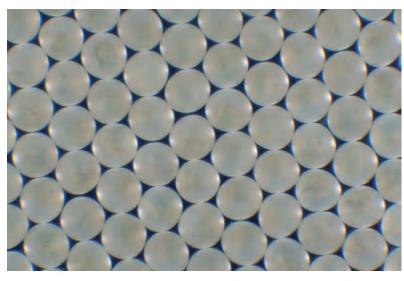
ハタハタのたまご

3_{mm}

トラフグ

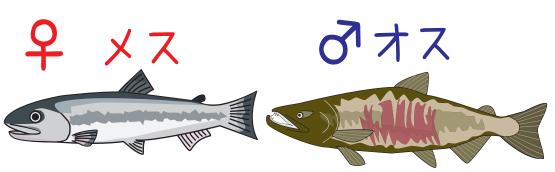
北海道~九州までのほぼ日本各地沿岸にいる親の大きさは70cmたまごの直径は1.13mm



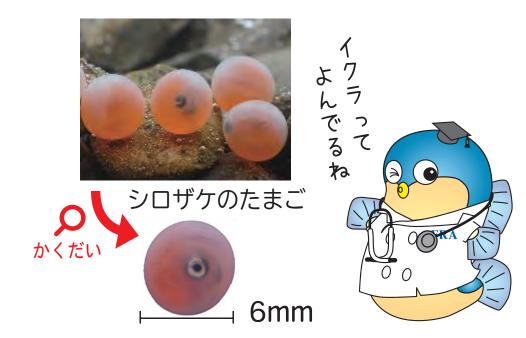




シロザケ (サケ) €

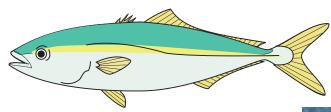


北太平洋に多くいて、日本では 北海道の沿岸によくいるよ 親の大きさは80cm たまごの直径は6mm たまごを産むために海から川を さかのぼってくることもある

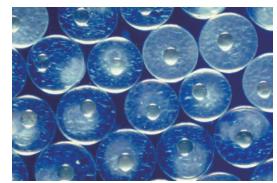


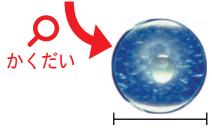


ブリ



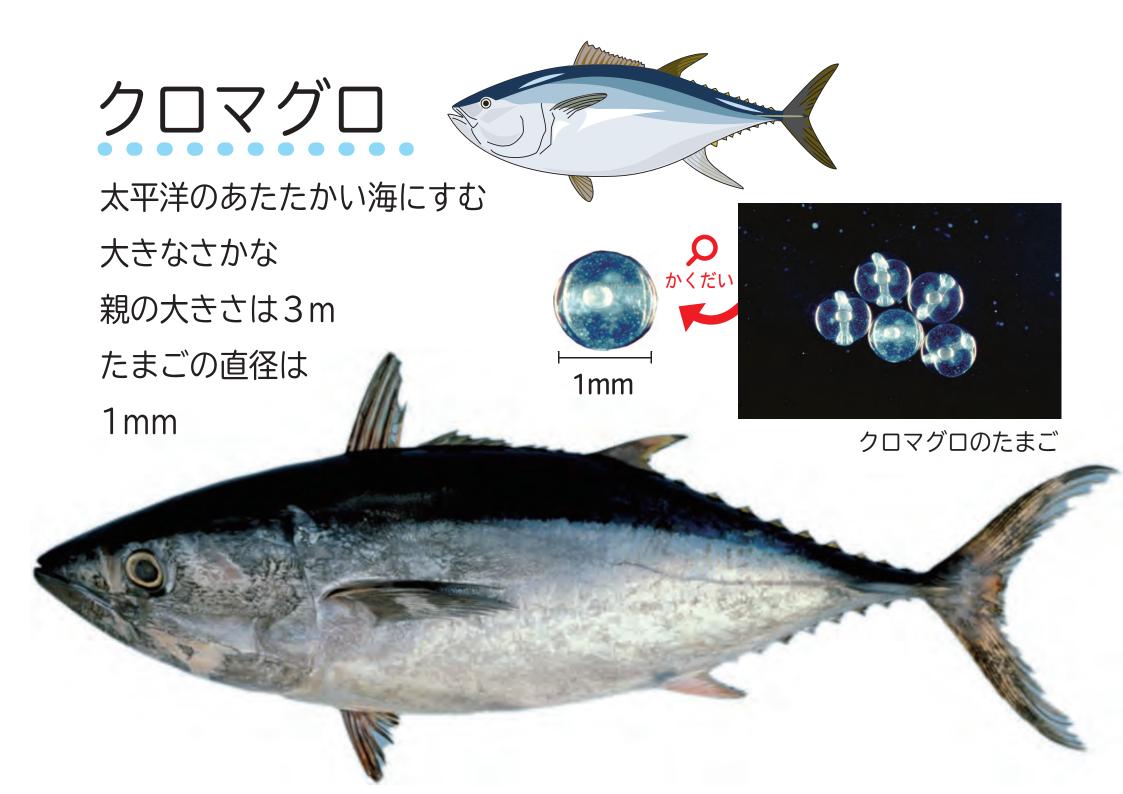
北西太平洋に多くいて、 日本の沿岸にもいるよ 親の大きさは 100cm たまごの直径は 1.2mm

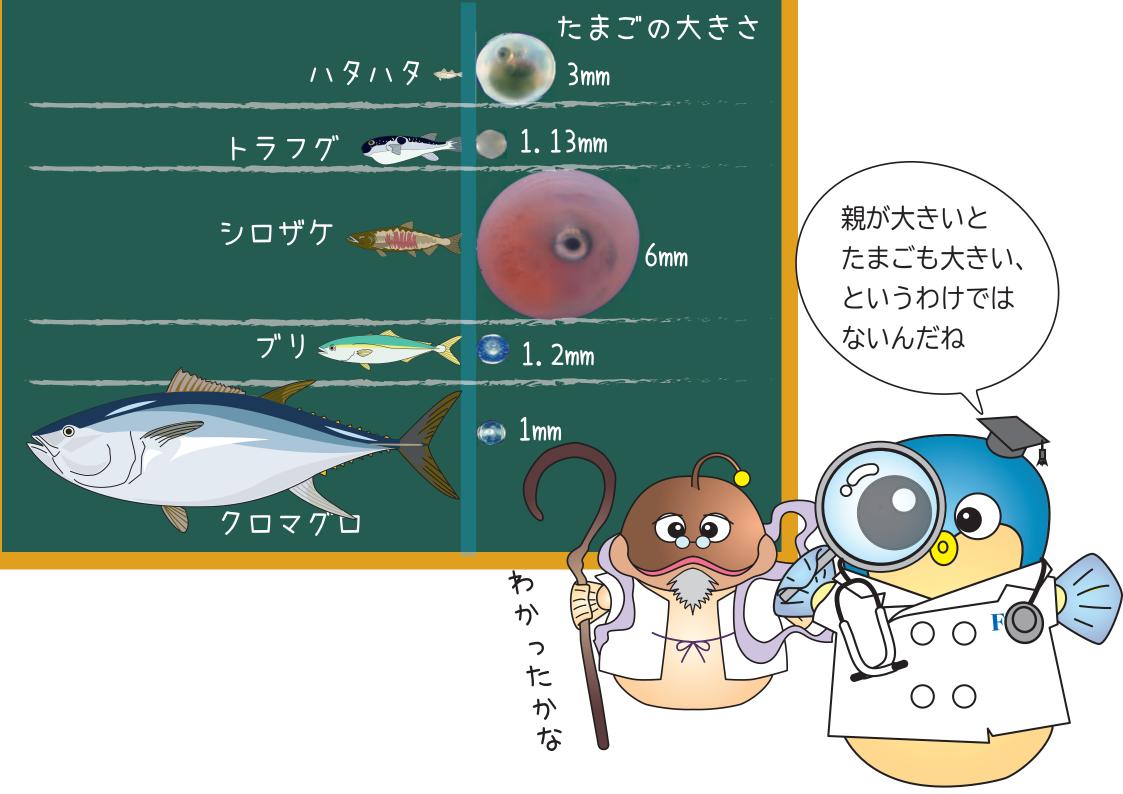




1.2mm







産婦人科 オスになったりメスになったり





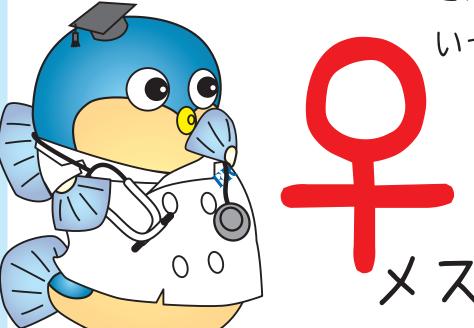
一生のうちでオスになったりメスになったりするさかながいるのを知っているかな。

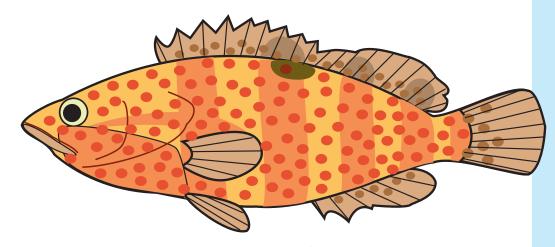
去年はハタ子さんだったけど、

今年はハタ太郎だったり。

さかなによっていろいろみたい。

いっしょに見てみよう。





キジハタのキジハ太郎ともうします きょねんはメスでした

はじめはメスで 大きくなるとオスになるタイプ

ベラのなかまやブダイのなかま、

ハタのなかまの多くは

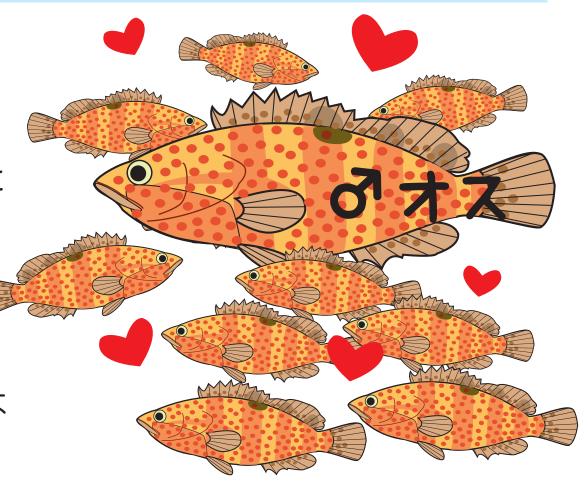
最初のうちはメスで大きくなると

オスになる。

オスはメスをいっぱいかこんで

ハーレムをつくります。

1回オスになっちゃうとメスには もどらないみたい。



キジハ太郎、キジハタ子たちにモテモテの図

ブダイ

ブダイはほとんどがメスとして生まれるんだ。大きくなってたまごを 産むようになり、さらに成長するとオスになって青や緑のあざやかな すがたにへんしんするんだ。はでで大きなオスはメスにモテて、たく さん子孫を残すことができると考えられているよ。



オスから イン 4 メスになるタイプ

クマノミ

クマノミはオスからメスになるタイプじゃ。

いっしょにすごしているグループの中で、

いちばんからだの大きなクマノミがお母さんになる。

つぎに体の大きいクマノミがお父さんになる。

そのほかはオスでもメスでもない未じゅくな個体じゃ。

お母さんがいなくなると、オスだったクマノミがメスになる。

そして、未じゅくなクマノミの中から次のオスが出てくるのじゃ。



食べ物でかわっちゃう?

ウナギ



ウナギのこどもはシラスウナギとよばれている。

このころはまだオスかメスかわからないのじゃ。

大きさが 25cm ぐらいになるころに、はっきりするらしい。

【ちょっとむずかしい話】

ウナギのようしょく場では水温をあたためて、ウナギにえいようのあるエサをあたえている。そういうところで育つと、ほとんどのウナギはオスになってしまうのじゃ。

でも最近の研究で、エサに大豆イソフラボンをまぜてあたえるとメスになるウナギが増えてきたのじゃ。